



第二十六回

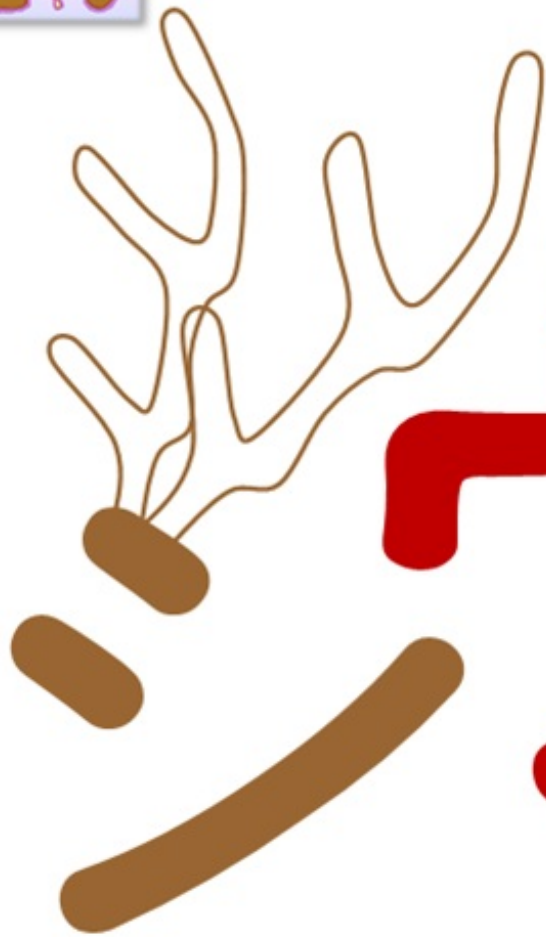
『賢者の愛』と「ネットウハ♥」の逆襲

考

え

マ

ー



右も左も

信者の収穫祭

シン パ

今回はUを褒める。コンセプト通り気味の悪いなめ合いで、「靴をなめれば足指まで」のつもりだから、くすぐったくてもじっとしててください。

まず『火花』くらいの処女作でわざと又吉に受賞させ、盛り上がる世間に向け「又吉君が羨ましい▽」とか会見したりして、若い頃にさんざ自分を叩いたマスコミや自分がとれなかった芥川賞に、数十年来の復讐を果たしてるんじゃないかな、山田詠美は。

って裏の裏を勘ぐるくらい、山田詠美の『賢者の愛』が俺には面白かった。人間の性（せい／さが）と業をめぐる話なんだけど、沖縄の壕（ガマ）並みに底深く掘り下げられてた。

『火花』の輝きが俺にとって「★★★」だとしたら、『賢者の愛』は「横綱級」だね。同じ純文学でも戦う「土俵」からして全くの別物だった。卑近な例えをすれば、『火花』の「お笑い」に関する説教は俺にとって、「自腹の飲み会でじっくりこない長説教に付き合わされた」感じだったけど、『賢者の愛』の「性愛」に関する説教は、「納得できない箇所もあるけど妙に引き込まれちゃう下ネタ」って感じだった。

ちなみにどっちの作品も巷では「★★★」くらいの評価だけど、もちろん売り上げや注目度には雲泥の差がある。

（特に悲観するワケではなく単に事実として「時代は軽くなる」以上、新品の本を購入して読む層は今後も減少し、話題に加わるための情報ツールとしてたまにブームの本を購入する層が増えるだろう。「芥川賞のもう一人の受賞者は全然売れてない」という事実が、それを如実に物語っている。本というメディアは「基本的には売れない嗜好品でマニア向けだが、たまに当たると一般層も購入して市場が増える」という認識が常識化しつつある）

そんな『火花』フィーバーを巻き起こした当事者の一人として、浮かれる世間を冷ややかにほくそ笑む山田詠美。まさか穿ち過ぎだろうし本人は至って嬉しそうだけど、あながち書きすぎたとは思ってない。『賢者の愛』を読めば、これでもまだ甘っちょろい表現で「エイミー関」にむしろ失礼だと気づくよ。さすが横綱。さてここまで、ものすごく誰の役にも立たない宣伝をしてみました。

ちなみにあえて例えにふさわしくない沖縄のガマを引き合いに出したのは、最近「島唄」の歌詞に込められた想いを知ったから。「集団自決」はしたくないと改めて思った。いちいち強制か自主的か、侵略か自衛か、左右の議論はどうでもいい。とにかく俺は絶対「集団自決」はしたくないから、各方向に向けて黙禱を捧げると共に、どうすれば俺が「集団自決」しないですむかを考えた。

その結果、Uみたいな生き方が最も適切だと感じた。努力して自分の腕一本で世界を渡り歩ける実力を身につければ、有事の際は自分で、戦うか逃げるかを選択できるから。今回はこの流れね。

俺にとって最近の安保に関する左右の論争は、各左派団体や、各宗教右派等が信者を獲得するための単なる祭りに見える。左右で叩き合ってお互いストレス発散する、力道山のプロレスに熱狂してた時代と一緒だ。

そもそも安保自体が中途半端な法案で、これじゃ米も喜びにくいし、中にも影響力がない。せいぜいこの国の権力者のために、貧乏人が命を危険に晒すってだけの法案だ。中国高官の話で（嘘かもしれんが）「むしろこのまま対米従属で、日が米の保護下にいたほうが、日中間よりも米中間のほうが対話がスムーズだから好ましい」って記事も読んだ。この国は未だに「黒船に向けて届かない大砲をちゅどーんと撃ってた鎖国時代と進歩ない」ってこれ、『稲中』の知識だけで書いてる俺もどうかと思うけど。

俺がここまで突っ込んで書くには理由がある。

なぜなら今まで「中のバブルはすぐ崩壊」「中の軍艦は泥船、戦闘機は紙飛行機」「この国の某J隊は最強。他国を一瞬で撃破」って豪語してた右の層が急に、「この国は超少子高齢化で産業も衰退しており、某J隊も実戦経験なく弱い。絶対に中に勝てない。だから安保で米に頼るしかない」って禁断の麻薬みたいな論理に手を染め出したから。

「中に勝てないのに、それでも敵対するのが唯一の道」って論理がまず破たんしていると俺は思う。更に「媚びへつらって属国になるのもイヤ。核武装して一発逆転の戦争仕掛けるのもイヤ。前線の捨て駒として徴兵されるのもイヤ。とにかく大国に頼るしか策がない弱い国」は一般論で言うと、各方面から金をむしり取られたあと捨てられるだろう。

更に一般論で言えば、ほっといても超少子高齢化で自滅する弱い国を、わざわざ戦争というリスクを冒してまで占領しようという考えも「逆お花畑」だろう。この国が自然と衰退するのを中はじっと傍観していれば、そのうち手中に収まるか、眼中に入らないくらい小さな島国となるのに、ムリに戦争仕掛けて米を刺激したいワケがないし、米としてもこの弱い国のために中と全面戦争するメリットもない。それが今の世界情勢だと右の層も認め出した。

今更「やっぱ中のバブル崩壊は必至で、中こそが弱い国だから安保いらない」とも言えないしね。右も左もどんだけ自虐的なんだって話だよ。

（ちなみに、「安全はタダじゃないから、貧乏人は権力者のために血を流せ」って考えもあるけど、この国は番犬である米に金と尊厳を貢ぐって昔から決めて来たはずだ。極論すれば、資本主義や納税の犠牲になって自殺した社会人はみんな、この国の安全のために血を流したとも言える。企業戦争で生じた税金で、この国は米から安全を買って来たから。おもっきし超訳／跳躍だけだ）

マスコミも含め利益でしか人は動かないのが資本主義だから、利益や信仰ではなく平等のために、自分で考えて主張する若者の姿勢は尊重したい。ただ集団の論理に絡め取られてお互い叩き合うのが目的となってる間に、権力者は粛々と法案を決め自分の給料や取り分を増やしていく。

政治家の平均年収が150万増えたとか、国家公務員でも5万いくら増えたとかって報道もあった

。これこそアベノミクスの成果だけど、大して注目もされない。結局、政治や他人に期待したところで俺やUみたいな貧乏人の年収が自然と150万上がるワケがない、よね？ 権力者は自分だけのために都合よく、責任取らずに利益だけ得る仕組みを順調に構築してる。そのための安保だ。「戦争法案」っていうより「ネトウハ♡法案」だよ。

「ネトウハ♡」って俺が以前書いた定義だけど、実はここまで踏み込んで書くのにも理由がある。「中ウハ♡」議員が憲法の三大原則と言われる「国民主権」「基本的人権の尊重」「平和主義」を堂々と否定するブログを昔書いてて、最近「戦争に行きたくないのは利己的」って呟いた件だ。この「中ウハ♡」議員は宗教右派とのつながりもやはり堂々と公言していて、結局受け売りの主張だった。

つまり、国民や「巻ウハ♡」の多くが「まさか」と笑ってるうちに、党を越えて国会議員にも深く食い込んでる宗教右派は、本気で3大原則を改憲して国民を奴隷化する気だ。ここは全然冗談じゃない。だって権力者の側はマジだから。ブラックジョークにもならない。

原発作業員のピンハネももはや話題にさえならない。福島の子供の甲状腺癌に関する補助金も900人~1000人で見込まれてるけど、この数字が多いのか少ないのか、そもそも何を意味した数字なのかも議論にならない。

「戦争反対」もいいが「ネトウハ♡反対」で一刻も早く団結しないと、国民は普通に奴隷化され、有事にはガマに追い込まれる。最悪、権力者は自分が脱出するための「ドリル」を持っていて、一人分の穴を開けて逃げられる。貧乏人を見殺しにする権力者の卑怯な「ドリル」に対して、国民は追及する力もない。

これが俺から見えるこの国の歪んだ現実だ。俺も現実もどっちも歪んでるから、もしかしたら逆に整った世界なのかもしれない。それにこの地球上では、飢えて死ぬ赤ん坊だってたくさんいる。そういう国に生まれなかつただけ幸運、と考えることもできる。

デモは否定しないが、それよりもUのように、外国語を学び、自分に実力をつけるために勉強し、学生は成績、社会人は実績を伸ばす努力をすれば、この国が有事になったら自分の実力で海外に逃亡できる。それが一番賢いセレブのやり方だ。本書いたりテレビに出るような人々もだいたいこの流れだろう。

貧乏人が権力者の集団を信用しても、いいように利用されて終わりだ。

今回はこんな感じ。

Uの生き方を知らん人も、『火花』や安保に浮かれてないでもっと見習うべきだ。Uは本でも書いてみたら？ かく言う俺も大して見習えてないけどさ。

さて、どうかな？



考えるウマシカ～第二十六回 『賢者の愛』と「ネトウハ♡」の逆襲～

<http://p.booklog.jp/book/100332>

著者：弦楽器イルカ

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/gengakkiiruka/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/100332>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/100332>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのパー（<http://p.booklog.jp/>）

運営会社：株式会社ブックログ